

プログラム

■ 11月18日(土) ■

【講演会場】

13:00 開会式

13:10~14:10 一般口演

座長：佐藤 亨（東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座）

O-1

仮説 人間の顎は宇宙からの特に地球の自転と公転からの力によって北半球では左螺旋回転してずれてゆく-第2報-

○戸矢 隆¹⁾、亀井琢正²⁾、磯野大輔²⁾

¹⁾丸橋全人歯科 歯科技工士、²⁾丸橋全人歯科 歯科医師

O-2

大臼歯部咬合と頸椎の関係 “大臼歯は上部頸椎の守り神だった”

○平沼一良

医療法人社団総良会平沼歯科クリニック

O-3

[n]持続発音位を応用した咬合採得法の有用性

○遠藤 舞、大川 穰、染川正多、上田脩司、松本大慶、大川周治

明海大学歯学部機能保存回復学講座歯科補綴学分野

O-4

再現性の高い咬合高径決定法の検討—閉口時口唇接触位と上唇赤唇部の面積との関係— 第6報

○渡會侑子¹⁾、小出 馨^{1,2)}、水橋 史²⁾、浅沼直樹²⁾、佐藤利英²⁾、栗田 武¹⁾

¹⁾日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学、

²⁾日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座

14:20~15:50 シンポジウム1 咬合と筋膜

座長：各務 肇（ポール矯正歯科センター）

1. 頭頸移行部と硬膜

富永正志

富永歯科医院

2. 咀嚼関連筋筋膜と頸筋膜（翼突下顎縫線）

吉田 実

Science Cure

16:00~17:00 一般口演

座長：大川周治（明海大学歯学部機能保存回復学講座歯科補綴学分野）

O-5

定量化を行える計測の可能性 全身への反射波及をコントロールできる可能性

○小菅伊知郎¹⁾、小林幸隆²⁾

¹⁾こすが歯科医院、²⁾こばやし歯科医院

O-6

総高齢者における咀嚼能力の性差

○倉持淳子、志賀 博、上杉華子、小見野真梨絵、横山正起

日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第1講座

O-7

昼間と夜間のブラキシズムを検査する方法について

○青木 聡^{1,2)}、多胡親孝¹⁾、西尾 穰¹⁾

¹⁾青木歯科(東京都)、²⁾東北大学大学院加齢歯科学分野

O-8

咬合偏位して症状のあるクランケの臨床10症例の報告

○加藤和子

加藤歯科医院

■ 11月19日(日) ■

【講演会場】

9:00~9:30 一般口演

座長：佐藤 聡（日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座）

O-9

キッチンペーパーを用いたタッピング介入による歩行時の足圧分布の変化

○市橋研一、武村政徳

医療法人大智会市橋クリニック

O-10

micro tapping 後の頸部および大腿部への促通について

○川村秋夫

川村歯科かみ合わせ矯正歯科医院(仙台市)

9:30~11:00 シンポジウム2 古代から現代にわたる咬合・咀嚼の変遷

座長：服部佳功（東北大学大学院歯学研究科加齢歯科学分野）

1. 縄文人の主機能部位—太古からの進化学的考察—

加藤 均

東京証券業健康保険組合診療所

2. 咬合・咀嚼とヒトの姿勢

坂口 究

北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野口腔機能補綴学教室

11:10~12:00 大会長講演

スポーツと咬合

座長：渡邊 誠（日本全身咬合学会理事長,東北福祉大学）

講師：川良美佐雄（日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学講座）

13:30~15:00 シンポジウム 3 生活と咬合

座長：志賀 博（日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第1講座）

1. いまなぜ歯科と閉塞型睡眠時無呼吸症候群なのか

對木 悟

財団法人神経研究所附属睡眠学センター

2. 咀嚼と咬合—顎関節に関連する病態と下顎位、咬合の関係—

小見山 道

日本大学松戸歯学部顎口腔機能治療学講座

15:00~15:30 一般口演

座長：山口泰彦（北海道大学歯学研究院冠・橋義歯補綴学教室）

O-11

口腔テクスチャー感覚と舌粘膜機械受容特性との関連

○伊藤佳彦、服部佳功

東北大学大学院歯学研究科口腔機能形態学講座加齢歯科学分野

O-12

総義歯装着者における咀嚼能力と口腔関連 QOL との関係

○山本早織、志賀 博、中島邦久、荒川一郎

日本歯科大学生命歯学部歯科補綴学第1講座

15:40 閉会式

【企業展示会場】 企業展示

展示時間 11月18日（土） 13:30~17:00

11月19日（日） 9:00~15:40